

—アンケート—

「歯科医療機器のレギュラトリーサイエンスと国際規格：アジアへの貢献」

本アンケートは日本の歯科医療システムのアジア進出を支援する（一社）アジアデンタルフォーラムの立場から、その活動の向上のためのご意見をご回答ください。結果については、回答者個人を特定できないように処理を行ったうえで、ADFのホームページ上で公表いたします。

Q 1. あなたのお立場をお尋ねします。

1. 職種：企業一般社員(8)、企業管理職(23)、臨床歯科医師(2)、大学研究者(8)
2. 年齢：20代(1)、30代(5)、40代(17)、50代(9)、60代以上(9)
3. 性別：女性(1)、男性(38) 該当なし(2)

Q 2. 本シンポジウムのテーマはあなたにとって時機を得たものだと思いますか。

- 全く思わない(0)、あまり思わない(0)、どちらとも言えない(7)、やや思う(20)、
強く思う(9)、該当なし(5)

Q 3. 各講演はあなたの期待の沿うものでしたか。

基調講演：全く思わない(0)、あまり思わない(2)、どちらとも言えない(6)、やや思う(21)、
強く思う(10)、該当なし(2)

講演 1：全く思わない(0)、あまり思わない(2)、どちらとも言えない(2)、やや思う(28)、
強く思う(7)、該当なし(2)

講演 2：全く思わない(0)、あまり思わない(3)、どちらとも言えない(5)、やや思う(23)、
強く思う(5)、該当なし(5)

講演 3：全く思わない(0)、あまり思わない(1)、どちらとも言えない(3)、やや思う(20)、
強く思う(11)、該当なし(6)

Q 4. 本シンポジウムの進行は円滑でしたか。

- 全く思わない(0)、あまり思わない(0)、どちらとも言えない(4)、やや思う(27)、
強く思う(9)、該当なし(1)

問題点をご指摘ください ()

Q 5. 本シンポジウムの参加費は適正でしたか。

- 全く思わない(2)、あまり思わない(4)、どちらとも言えない(20)、やや思う(10)、
強く思う(4)、該当なし(1)

Q 6. 本シンポジウムの開催場所は適正でしたか。

全く思わない(1). あまり思わない(12). どちらとも言えない(13). やや思う(12).
強く思う(3).

Q 7. 本シンポジウムの周知方法は適切でしたか。

全く思わない(1). あまり思わない(5). どちらとも言えない(17). やや思う(16).
強く思う(2).

問題点をご指摘ください (下記コメント参照)

Q 8. ADFは今後もシンポジウムを開催する予定です。あなたが期待するテーマは何ですか。

下記コメント参照

<コメント>

一般社員/60代以上：もう少し時間が欲しい。内容の深化が必要。

一般社員/40代：各国の規制、申請方法事情について。

企業管理職/60代以上：内容と価値が合わない。

〃 : アジア各国の歯科器材に対するニーズと問題点 (水質・電力事情・
保健事情・物価事情等) を主要各国代表者に講演してもらいたい。

企業管理職/50代：平日が望ましい。

企業管理職/40代：新しい分野の規制動向について知りたい。

〃 : 東南アジア各国の医療実態、制度の紹介など知りたい。

〃 /30代：各テーマの内容は素晴らしかった。もっと長い時間 (1日) で海外 (アジア圏)
への医療機器申請に関するテーマをより充実させてもらえるとありがたい。

大学研究者/40代：レギュラトリーサイエンス・デスバレイの具体の説明あたりが大学関係者には
関心が高い。

大学研究者/30代：在留邦人への歯科診療

歯科医/50代：東京駅の近くが良い。具体的な海外への進出方法を知りたい。

歯科医/50代：HPでの周知も検討する。アジア各大学歯学部概況、開業歯科医院概況